

きつとせん
吉都線・小林駅開業 100 周年

きつとつながる。吉都でつなぐ

10月1日、JR小林駅は開業から100年を迎えます。

また、来年の10月8日には、吉都線が全線開通して100周年。

ふだん、私たちが何気なく見かける線路には、100年分の歴史、人の思いやドラマが詰まっています。

今、100周年をきっかけとして、小林市を元気にしようと取り組む人たちがいます。

今月号では、吉都線の歴史と魅力を再発見し、これからどう生かし、未来につなげていくかを考えていきます。

写真／小林市市制施行50周年記念写真集
「写真で見る 小林市50年の歩み」より

きつとつながる。吉都でつなぐ



HISTORY

きつとせん
吉都線 100年の歴史



吉都線は、鹿児島県始良郡湧水町の吉松駅から都城市の都城駅に至る九州旅客鉄道（JR九州）の鉄道路線。駅数17、全長61.6^キ。現在の肥薩線が九州縦断の大動脈として開通すると、そこから分岐して宮崎を結ぶ宮崎線の建設が吉松から東に向けて進められた。大正元年から大正2年にかけて整備され、大正5年には宮崎まで全通。宮崎から鹿児島や熊本、博多方面へ鉄道で向かう重要幹線として機能した。

Chronology

明治43年（1910）

吉松～小林～高岡～宮崎の鉄道敷設が決定

明治44年（1911）

小林～都城～宮崎に変更

大正元年（1912）

官設鉄道の宮崎線として吉松～小林間が開業（10月1日）

大正2年（1913）

小林～都城間が延伸開業

大正5年（1916）

宮崎線の吉松～宮崎間が全通

昭和4年（1929）

西小林駅が開業

昭和7年（1932）

現行の日豊本線小倉～鹿児島間全通により、都城～吉松間を吉都線として分離

昭和26年（1951）

小林町駅を小林駅に改称

昭和62年（1987）

国鉄分割民営化